

## 第26回 プラスチック成形加工学会 秋季大会参加募集 「成形加工の扉を開けてみる、世界は広いぞ。」

情報 URL <http://www.jspp.or.jp/>

第26回秋季大会は浜松市で開催いたします。開催場所の浜松ならびに遠州地域は、日本を代表するものづくり企業をいくつも産み出した地であり、そのような進取の精神を遠州弁で「やらまいか」(やってみようじゃないか、やってみようじゃないかの意)と表現します。そこで、本秋季大会では、「成形加工の扉を開けてみる、世界は広いぞ。」と銘打ち、プラスチック成形加工発展の鍵となる研究発表・議論、また交流の場を提供いたします。行事内容としては、特別講演、特別セッション、一般セッション、ポスターセッション、懇親会などを予定しています。みなさまの積極的なご参加を、心よりお待ちしております。

1. 日 時：2018年11月26日(月)、11月27日(火)

2. 会 場：グランドホテル浜松

〒432-8036 静岡県浜松市中区東伊場1-3-1  
JR 浜松駅から徒歩約15分。

会場への交通アクセス詳細はグランドホテル  
浜松ホームページの「交通アクセス」をご参照下さい。<https://www.grandhotel.jp/>

3. 主 催：プラスチック成形加工学会

4. 協 賛 (予定)：静岡県工業技術研究所、化学工学会、高分子学会、精密工学会、繊維学会、自動車技術会、日本機械学会、日本材料学会、日本繊維機械学会、日本塑性加工学会、日本複合材料学会、日本レオロジー学会、マテリアルライフ学会、SPE日本支部、型技術協会、強化プラスチック協会、日本合成樹脂技術協会、日本ゴム協会、日本プラスチック機械工業会、全日本プラスチック製品工業連合会、日本バイオプラスチック協会

5. 内 容

5.1 特別講演

浜松市楽器博物館館長 嶋和彦氏

5.2 特別セッション

・特別セッションI

「セルロースナノファイバーを使いこなすためには」  
＜伊藤弘和(産総研)、合田公一(山口大)、青木憲治(静岡大)、山本顕弘(モリマシナリー)、大峠慎二(トクラス)＞

セルロースナノファイバー(CNF)は、素材が有するポテンシャルから多くの産業界で注目され、研究開発も盛んに行われています。実際に、ボールペン、紙おむつ等で実用化していますが、当初期待されていたレベルの普及には至っていません。これは、開発期間、コストあるいは機能だけの問題ではなく、使用するためのアプローチが難しい素材であ

る点が挙げられます。

本セッションでは、「CNFを使いこなす」をキーワードに、川上、川下の技術者を交え、これからのCNF利用に関して幅広い議論をする場を提供します。

・特別セッションII

「光とプラスチック成形加工」

＜居波涉(静岡大)、坪井昭彦(光産業創成大)、宮本昌浩(浜松ホトニクス)、中野雅晴(静岡県工業技術研究所)＞

光技術の発展により、非常に高いエネルギー密度のレーザーが開発されてきました。これにより、レーザーを用いた加工技術も発展し、光ならではの特徴を生かした加工法が開発され、様々な産業で用いられています。光造形、切断、接合、クラディング、表面改質、難加工材の加工など様々な加工に応用されており、今後もその応用範囲は広がると思われます。

本セッションでは、光を用いたプラスチック成形加工やその周辺技術に焦点を当て、その現状と今後の展望について深く議論する場を提供したいと考えております。

・特別セッションIII

「未来を切り開く Cutting-edge な複合材料技術」

＜仲井朝美(岐阜大)、大谷章夫(京都工繊大)、西田政弘(名古屋工大)、小林正俊(本田技術研究所)＞

繊維強化複合材料(FRP)は強化繊維やその形態、および樹脂の種類により多種多様なものがありますが、その中でもより高い繊維含有率かつより長い繊維で強化した、高性能を有するFRPをいかに活用していくかに近年注目が集まっています。

強化形態、樹脂、成形の観点で様々な開発が行われる中、依然として高性能な複合材料のマスプロダクトへの適用が成されていないのが現状です。本セッションでは、「未来を切り開く Cutting-edge な複合材料技術」をキーワードに、先端複合材料に関して幅広い議論をする場を提供します。

・特別セッションIV

「先端デジタル技術による設計・成形支援」

＜◎高原忠良(富士テクニカルリサーチ/埼玉工大)、一ノ瀬規世(JSOL)、王志剛(岐阜大)、瀬戸雅宏(金沢工大)、高橋進(日大)、山部昌(金沢工大)＞

AIやIoTは、言葉が先行し具体的な活用や成果が今一つ不透明な状況にありますが、画期的な成果、

あるいは重大な影響が想定されます。そこで本特別セッションとして、関連する先端デジタル技術全般の報告、提案、討議の場を提供することといたしました。他分野におけるAI, IoT, あるいはMaterial Informaticsなどの活用事例なども参考にしながら、成形加工に展開するためのセンシング技術・デジタル計測技術、さらには、CAE技術をも包含した広いテーマで討議の場となることを期待しています。

みなさまを、成形品やその工程の設計・解析・加工の支援のための先端デジタル技術の討議の場へお誘いいたします。

### 5.3 一般セッション

1. 射出成形
2. 押出成形・混練
3. ブロー成形・熱成形
4. 紡糸・フィルム成形
5. 熱硬化成形・反応成形
6. 超臨界流体・発泡技術
7. CAE
8. マイクロ・ナノ成形
9. 金型・成形機・周辺機器
10. 構造・物性・評価
11. ゴム・エラストマー
12. アロイ・ブレンド・コンポジット
13. リサイクル・環境調和材料
14. 工業レオロジー
15. 新成形法・二次加工
16. その他

### 5.4 ポスターセッション

<安田健(東京都産技研), 榎本和城(名城大), 隠塚裕之(化学物質評価研究機構), 村上裕人(長崎大)>  
発表者と大会参加者の活発なコミュニケーションの場として、ポスターセッションを設けます。ポスターセッションにおける優れた発表に対しては、優秀ポスター賞として表彰を行います。

### 5.5 特別企画

浜松市・静岡県を中心に創造的・先端的な取り組みを行っている企業・コンソーシアムを、展示を交えてご紹介します。

### 5.6 カタログ展示

研究者・技術者と関連企業の技術の出会いの場として、カタログ展示を企画しています。プラスチック成形加工にかかわる幅広い分野からの展示を募集いたします。

### 6. 懇親会

11月26日(月)の特別講演終了後に会場のグランドホテル浜松にて懇親会を開催いたします。

### 7. 参加申込要領

秋季大会・懇親会に参加ご希望の方は、本稿冒頭に記載のホームページより所定の期日までにオンラインでお申込みください。オンライン申込みができない場合には、本号綴じ込みの「参加申込書」に必要事項を記入の上、郵送またはFAXで学会事務局までお申込みください(1名につき1枚使用のこと)。

事前登録の締切は2018年10月31日(木)です。以降は当日登録扱いとなりますので、ご注意ください。

参加費	事前登録/当日登録
正会員・賛助会員	8,000円/12,000円
協賛学協会会員	12,000円/16,000円
非会員	16,000円/16,000円
学生(会員・非会員)	3,000円/3,000円
懇親会費	7,000円

### 8. 締切スケジュール:

- ①予稿原稿締切: 2018年9月28日(金)
- ②事前参加申込締切: 2018年10月31日(木)

### 9. 秋季大会に関する問い合わせ先:

第26回プラスチック成形加工学会秋季大会(成形加工シンポジウム'18浜松)実行委員会

委員長: 島村佳伸(静岡大)

副委員長: 田上秀一(福井大)

齊藤卓志(東京工大)

古橋 洋(浜名湖電装)

中里和市(ヤマハファインテック)

代表幹事: 信川省吾(名古屋工大)

TEL: 053-478-1045

FAX: 053-478-1029

symposia18@mechmat.eng.shizuoka.ac.jp